

地域連携コーディネーター養成スクール

つながり

県立生涯学習推進センター発行

地域連携コーディネーター養成スクールの受講者の皆様へのお知らせ

平成29年7月



地域連携コーディネーター養成スクール第2回研修会開催

地域連携コーディネーター養成スクール第2回研修会へのご参加ありがとうございました。今回の午前中の研修では、地域コーディネーターとして必要な力であるファシリテーション力を高めることにねらいをおきました。地域の人と人を、あるいは学校と地域をつなぐためには、会議に参加した方のアイデアを生かしながら、意見をまとめていくファシリテーション力が必要です。NPO法人みらいずworks代表理事の小見まいこ様から、演習を中心に指導していただきました。即実践に生かしていただけたと思います。

午後の研修会では、実際に学校と地域の連携・協働に関わっておられる方々から事例を紹介していただきました。地域コーディネーターとしての立場、地域連携担当教員としての立場、市町村の地域連携担当職員としての立場から発表していただき、異なる視点から連携・協働の在り方や地域コーディネーターの役割を再確認することができたものと思います。

大切なことは、発表のあった市町村と自分の市町村では条件や環境の異なるため、実践が難しいとあきらめるのではなく、学んだことと今あるものを少しでも生かして実践への一步を踏み出していただきたいということです。学校と地域の連携や協働の在り方や組織は、全県を見ても同じ市町村は一つありません。自分たちの市町村、あるいは学校の限られた条件の中で、取り組んでいくことが大切です。むしろ、自分たちの市町村や学校なりのやり方で行う方が無理なくでき、長続きするのかもしれませんが、成果を発揮しやすいかもしれません。今日の事例紹介を参考にされて、少しでも改善を加えて取り組んでいただければ幸いです。

皆さんの活躍を注目しています！

ラ・ラ・ネットコミュニティの掲示板にも記しましたが、学校と地域の連携・協働の取組を推進することは、今日、県民から注目されています。今回の「地域連携コーディネーター養成スクール」については新潟日報の記事にも取り上げられました。また、佐渡市の放課後子供教室の記事が同じく新潟日報に掲載され、その中には研修会を受講された地域コーディネーターさんのコメントも紹介されていました。

今後も、皆さんが研修の成果を生かしご活躍されることを期待しています。また、取組の成果や課題等をラ・ラ・ネットコミュニティで共有していきましょう。

なお、県教育庁生涯学習推進課のホームページの中に、「はぐくみネットワーク」という事例紹介のページがあります。県内の各市町村が行っている学校と地域の連携・協働の活動紹介や研修紹介のページです。学校支援地域本部事業、放課後子供教室、土曜学習、家庭教育支援の事例が紹介されており、大変参考になると思います。ぜひ、ご覧になってください。

次回の研修会は9月です。実際の活動における企画の立て方を学べる内容です。

講師は、月刊誌「社会教育」にも毎月すぐに役に立つ連載記事を執筆されている尚絅学院大学教授の松田道雄様です。地域での活動の企画を豊富にご経験されている先生から、ポイントを学ぶことができます。お楽しみに・・・

